

「2026 年度教育実践総合セミナー」のおしらせ

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センターは、学内外の関係諸機関との連携のもとに教育実践に関する理論的かつ実際的な研究及び教育を行い、教員養成及び教員研修に資することを目的に掲げています。

令和6年の「令和の日本型学校教育」に関する中教審答申では、新しい研修観に則した研修コンテンツや研修会の充実が求められています。

そこで当センターに所属する学校や教育委員会等で勤務経験を有する教員によるセミナーを、本学教職大学院の院生を交えて、対話・ワークショップ形式で開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

1 開催日時

令和8年8月19日(水) 第1回 13:00~16:30(2コマ)
21日(金) 第2回 9:00~12:10(2コマ)
21日(金) 第3回 13:00~16:30(2コマ)
24日(月) 第4回 13:00~16:30(2コマ)

2 開催場所

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター (附属小学校敷地内)

さいたま市浦和区常盤6-9-44

※本セミナーは対面で実施します。会場は埼玉大学ではありません



教育実践総合
センターHP

3 内容

裏面をご参照ください。希望されるテーマごとにお申し込みください。

4 参加対象者

埼玉県・さいたま市内及び近隣の学校にお勤めの教員及び指導主事等

埼玉大学大学院教育学研究科(教職大学院)大学院生および大学院修了者

5 参加費 無料

6 申込方法と締切日

参加ご希望の方は、教員研修プラットフォーム plant よりお申込みください。

<https://plant.nits.go.jp/>

締切：8月3日(月)：締切前でも定員に達した場合締め切ります

主催・後援

主催：埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター

後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会(申請中)

お問い合わせ先：埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター

さいたま市浦和区常盤6-9-44

e-mail: saidai-jissencenter@gr.saitama-u.ac.jp

電話：048-832-9866(月・水・金のみ)

*8月10日(月)~18日(火)は夏季休業中につき事務室は閉室しています。

緊急の場合はメールを送信してください。

研修テーマ ※受講希望者はテーマごとに申し込んでください。各テーマの定員は40名程度

8月19日（水）午後

特別な支援を必要とする子どもへのチーム支援	担当：内河 水穂子 教授
特別な支援を必要とする子どもたちの課題は、複雑化・多様化しています。その子どもたちへの適切な支援を検討するために、子どもの実態把握と支援方法、ケース会議のあり方、特別支援教育・生徒指導・教育相談・関係機関と連携するチーム支援について考えていきます。本研修では、講義、事例検討ワーク、参加者の実践上の悩みについての質疑・応答を行います。 ＊資料をダウンロードするために、PC等を持参してください。	

8月21日（金）午前

日々の教育活動に生かすカリキュラム・マネジメント	担当：栗原 孝子 教授
現行の学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」を育成するために、各学校における教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントが求められています。カリキュラム・マネジメントは、教育課程の担当者や管理職だけでなく、全教職員の参画意識を高めることが大切と考えます。教育活動の質の向上を目指し、PDCA サイクルを回しながら、学校全体で進めていくカリキュラム・マネジメントについて考えていきます。 ＊資料をダウンロードするために、PC等を持参してください。	

8月21日（金）午後

学校のマネジメント	担当：日吉 亨 教授
研修では、学校が直面する複雑な教育課題を多角的に捉え、その構造を理解したうえで解決策を主体的に創出できる専門性を育むことを目的としています。学校経営、チームとしての組織づくり、地域との連携など、現場で求められるテーマを総合的に扱い、理論と実際に発生した例を取り上げながら探究を深めます。対象は学生に限らず、現職の教員や、校長・副校長・教頭など管理職の方々にも広く開かれており、立場を超えた対話と協働を通して、新たな視点や実践知を共有できる場となります。学校をより良く変えていくための「問い」と「技法」を磨く学びの機会として、多くの皆さまの参加を歓迎いたします。 ＊資料をダウンロードするために、PC等を持参してください。	

8月24日（月）午後

学校の諸課題を議論して、教師が働きやすい職場づくりに繋げよう！	担当：浅海 純一 教授
学校現場の教育活動の多様化や複雑化により、従来の教師の感覚では対応が難しくなっている状況の中で、国や自治体が進めている働き方改革の在り方や、それに対する学校現場の対処方法について、現場の皆さんの意見をいただきながら、働きやすい職場づくりを考えてみたいと思います。 また、教師不足が深刻化する今日、教師を目指す若者や若手教師に対して、やりがいや魅力、働きやすさをどう発信していくのかも、議論してみたいと考えています。 ＊資料をダウンロードするために、PC等を持参してください。	

時 程	午 前	午 後
受付	8：20～ 8：40	12：30～12：50
研修1	9：00～10：30	13：00～14：30
休憩	10：30～10：40	14：30～14：40
研修2	10：40～12：10	14：40～16：10
振り返り・アンケート記入		